



四国中央市 シティプロモーション戦略 第1弾

18歳が創り出す新イベント

18祭り

ジュウハッサイ!



3月5日(日)、雲一つない青空の下で、本市の新たなイベント「18祭り」が誕生しました。テーマは「いつか帰ってきたくなるまちを創造する」。イベントを運営するのは、この春旅立つ若者や高校生たちです。今年3月に本市が策定したシティプロモーション戦略が、この日スタートを切りました。



市庁舎1階で行われた幕開け式典では、美術家の風間天心さんが制作した、巨大な水引作品を披露。そして高校生たちが描いた本市の未来像を美術家の鷲尾友公さんがイラスト化したビジョンマップが、本市の「音」を紡ぎ合わせてnabelTDさんが制作したオリジナル音源に乗せて発表されました。

パフォーマンスエリアとなった市民交流棟は、ダンスパフォーマンスや演劇、音楽演奏、けん玉ワークショップのほか、ヘアメイクを体験した高校生たちのお披露目会で盛り上がっていました。

庁舎周辺には、マルシェやキッチンカーなど50を超えるブースが立ち並び、市内外から訪れた3千を超える人々に賑わいました。

そして会場の各所では、赤いユニフォームに身を包んだ高校生たちが、司会や進行、来場者の誘導など運営スタッフとして大活躍。イベントの成功に大きく貢献しました。



▶赤のユニフォームと市の未来が、次年度のスタッフへ託された



▽「大変だったけど、このまちが前より好きになりました」と話してくれた寺尾桜さん(左)と新田心春さん(右)

